

『地理言語学研究』 *Studies in Geolinguistics* 投稿要領 [2025 年度]

1. 内容（分野，種類）

- a) 学術論文：世界諸言語を対象とした未公開のオリジナルな研究で、以下の条件を満たすものが望ましい。
 - ・言語地図を使った研究であること。
 - ・個別の言語特徴を類別した記号により表した図を含むこと
 - ・言語特徴の地理分布に即してその形成過程を論じた内容を含むこと。これらの条件を満たせば、他に関連分野の内容が含まれていてもよい。
なお、予稿集など通常プレプリントと見なされる刊行物に掲載されたものは未公開として扱う。
- b) 資料：地理言語学に資する方言の調査報告や一次資料のデータ提示。
- c) 書評・学会参加記・学界動向・研究者へのインタビュー・座談会など。
- d) 翻訳：諸外国または日本の関連研究を日本語ないし英語に訳したもの。
- e) 短信：おおむね 1～2 頁以下のもの。
- f) 彙報；主として学会世話人会が執筆する。
- g) 以上のほか、編集委員会が必要と認めた場合は、学術論文、書評、学会動向などを特定の研究者に依頼することがある。

2. 投稿資格

- a) 日本に在住する者は誰でも投稿できる。
- b) 日本国外に居住する者は日本在住の紹介者を必要とする。問題が生じた場合は紹介者が解決に協力する。

3. 法規と研究倫理

- a) 日本の著作権法と研究規範を遵守すること。違反するものは採用を取り消す。
- b) 投稿者はインターネットによる複製権と公衆送信権を本学会に対して許諾したことになる。
- c) 問題が生じた場合は、投稿者が全面的に責任を負い、本学会は発行を取り消す以外の一切の責任を負わない。

4. 使用言語

- a) 日本語または英語に限る。

- b) 非母語による執筆は、必ず当該論文の専門性に対応できる母語話者による校正・チェックを経ること。

5. 分量等

- a) 頁数の制限は設けないが、版面は合理的に使用して、必要にして十分な記述を旨とする。
- b) 一人で一つの号に複数の原稿を提出することを認める。100 頁を超えるものはモノグラフとすることも考慮されたい。モノグラフについては別途投稿要領を定める。

6. テンプレート

投稿者は、日本語または英語のテンプレートに従って完成原稿を作成する。

注) カラー地図も自由に入れてよいが、地図作成に当たっては、記号が明瞭に判読できること、また地図サイズを適切に設定し、不必要な空白が多く入らないようコンパクトにページを構成すること。類別が 5 種類程度を超える場合はカラーだけでなく、記号の形や大きさにて区別できるようにする。

7. 査読と採否

- a) 採否については編集委員会による査読及び議を経て、世話人会が決定する。依頼論文についても同様とする。
- b) 査読結果は、A)採択・B)要修正・C)不採択の三種類とする。
- b) 査読意見は日本語によって通知されるので、B)要修正の場合、日本語が理解できない執筆者は日本在住の紹介者を介して修正を行うこと。
- c) 採否の理由に関する問い合わせは受け付けない。

8. 提出期限と原稿送付先

- a) 提出期間：2025 年 7 月 1 日～ 7 月 10 日。
(但し依頼論文については別に期限を定める)
- b) 原稿送付先：gsjshenshu[at]yahoo.com ([at]を@に変えてください)
pdf, Word 双方のファイルを送る。Word 版には氏名・所属・謝辞を入れ、pdf 版にはそれらを入れない。
- c) 受け取り通知:提出期間を過ぎて1週間以内に編集委員会から受領の通知を送る。期限を過ぎても通知がない場合、原稿送付先に問い合わせること。
- d) 採択通知：8 月 10 日までに応募者に通知する。修正が必要な場合は付された査読意見に沿って修正を施し、9 月 4 日必着で再送すること。遅れた場合は掲載されないことがある。

9. 発行時期と公開方法

- a) 遅くとも 2025 年 12 月 31 日までは ISSN 付きの pdf 版が zenodo にアップされて、DOI が賦与される。本学会ウェブサイトはそのリンクが公開され、誰でも無料でダウンロードできるようになる。
- b) zenodo はクリエイティブ・コモンズ Ver.4 に準拠しているので、投稿した時点でその条件も受諾したこととなる。
- c) 紙版は MyISBN (<https://myisbn.jp/>)に紙版の公開を委託し、pdf 版公開の約 1 ヶ月後に ISBN つきの紙版が Amazon 日本を通して販売される。必要な者は各自で購入されたい。

10. 改定

本要領は世話人会の議を経て改定されることがある。本学会ホームページの最新情報を適宜参照されたい。